



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社
コード番号 7238 URL <http://www.akebono-brake.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 信元 久隆
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 篠田 達也

TEL 048-560-1501

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	172,056	83.6	10,779	307.2	9,364	662.8	5,934	375.8
22年3月期第3四半期	93,692	△28.5	2,647	—	1,227	—	1,247	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	44.80	44.64
22年3月期第3四半期	11.31	11.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	176,392	55,749	27.5	365.71
22年3月期	164,120	49,086	26.7	330.76

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 48,452百万円 22年3月期 43,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	5.00	—		
23年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	68.4	12,500	168.1	11,000	311.9	6,500	215.5	49.06

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	135,992,343株	22年3月期	135,992,343株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	3,505,608株	22年3月期	3,588,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	132,460,780株	22年3月期3Q	110,280,381株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
4. 補足情報.....	12
(1) 平成23年3月期第3四半期連結累計期間 決算概要〔連結〕.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、新興国を中心とした外需の改善に伴う輸出及び生産増加や政府による各種経済対策効果を背景に一部に景気の持ち直しの兆しがあったものの、後半にかけてはエコカー補助金等の政府経済対策の段階的終了、失業率の高止まり、円高の進行などにより、本格的な景気回復には至っておりません。一方、海外経済は、米国で回復の兆しが見えてきたことに加え、中国及びアジアを中心とした新興国が引き続き好調を維持しております。他方、欧州の一部の国の財政問題や中東情勢など不安定な要素も存在しております。

自動車業界においては、アジアの自動車販売台数は引き続き好調であり、北米においても自動車販売台数は前年を上回り緩やかに回復してきております。日本の自動車販売台数はエコカー補助金が9月に終了した反動により10月以降減少しており、欧州においても徐々に回復はしているものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、第3四半期連結累計期間における売上高は1,721億円（前年同期比83.6%増）と大幅な増収となりました。この結果、営業利益は108億円（前年同期比307.2%増）、経常利益は94億円（前年同期比662.8%増）、四半期純利益は59億円（前年同期比375.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

エコカー補助金打ち切りによる販売台数減少の影響はありましたが、輸出車向けが堅調に推移し売上高は724億円（前年同期比19.3%増）となりました。利益面では、原材料価格や人件費の上昇があったものの増産効果や前年度行ったコスト構造改革の効果などにより、営業利益は70億円（前年同期比251.7%増）となりました。

②北米

北米の自動車販売台数は緩やかな回復基調にあり、既存の生産拠点の受注は前年同期比で増加し、加えて一昨年12月末にロバートボッシュL.L.C.より北米事業を譲受けたことにより、売上高は873億円（前年同期比250.1%増）と大幅な増収となりました。しかし、利益面では北米事業譲受による生産移管に伴うエキストラコストが発生しており営業利益は9億円（前年同期は営業損失9億円）に留まりました。なお、前年度末に計上した「在外子会社の事業譲受に係る特定勘定」(*)を39億円取崩しております。
(*)前年度末にロバートボッシュL.L.C.より譲受けた事業について、事業譲受け後に発生することが予想される営業損失に対して連結貸借対照表の「在外子会社の事業譲受に係る特定勘定」として固定負債に計上したものであります。

③欧州

売上高は31億円（前年同期比0.2%減）と減収になり、営業損失は0.9億円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。

④中国

引き続き日系自動車メーカーからの受注が好調に推移し、売上高は38億円（前年同期比61.7%増）、営業利益は6億円（前年同期比87.3%増）となり大幅な増収増益となりました。

⑤タイ

ディスクブレーキに加え、ブレーキパッドの生産も軌道に乗りつつある中で受注が順調に推移し、売上高は25億円（前年同期比48.2%増）、営業利益は3億円（前年同期は営業利益0.2億円）となりました。

⑥インドネシア

景気の拡大に伴って前年度から引き続き日系の二輪車及び四輪車メーカーからの受注が好調に推移し売上高は107億円（前年同期比43.1%増）、営業利益は18億円（前年同期比73.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,764億円と前連結会計年度末比123億円の増加となりました。

流動資産は907億円と前連結会計年度末比176億円の増加となり、固定資産は857億円と前連結会計年度末比53億円の減少となりました。

主な要因は、北米での事業譲受けによる売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が132億円増加したことでありです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,206億円と前連結会計年度末比56億円の増加となりました。

流動負債は535億円と前連結会計年度末比152億円の増加となり、固定負債は671億円と前連結会計年度末比96億円の減少となりました。

主な要因は、北米での事業譲受けによる仕入高の増加に伴い、支払手形及び買掛金が116億円増加した一方で、在外子会社の事業譲受けに係る特定勘定が39億円減少したことでありです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は557億円(前連結会計年度末比67億円の増加)となりました。主な要因は、利益剰余金が46億円増加及び曙ブレーキ産機鉄道部品販売株が第三者割当増資をしたこと等により少数株主持分が20億円増加したことでありです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は242億円(前連結会計年度末比26億円の増加)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、65億円の収入(前年同期比67億円の収入増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益96億円、減価償却費75億円、北米での事業拡大を主要因とした売上債権の増加額147億円及び仕入債務の増加額126億円、退職給付引当金の減少額23億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、61億円の支出(前年同期比139億円の支出減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出33億円、投資有価証券の取得による支出7億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、24億円の収入(前年同期比116億円の収入減少)となりました。主な要因は、短期借入金の純増額による収入18億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月2日に公表いたしました通期連結業績予想について、修正はありませんが、地域別の業績予想数値については一部見直しをしております。前回予想との差異については、P12の補足情報をご覧ください。

<日本及びアジア>

営業利益については、市況価格の高止まり等の影響はありますが、当第3四半期連結累計期間までの成果を踏まえ、通期営業利益の上方修正を行っております。

<北米>

ロバートボッシュL.L.C.工場から当社へ生産移管をするための製造設備の移動及び平行して実施するリストラクチャリングによるエキストラコストが想定以上に増加しており、また、原材料価格の上昇などが見込まれるため通期の営業利益予想を下方修正いたしました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。なお、この変更が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。なお、この変更が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,380	16,754
受取手形及び売掛金	39,825	26,624
有価証券	9,600	10,800
商品及び製品	2,823	4,699
仕掛品	1,963	1,587
原材料及び貯蔵品	7,544	6,077
繰延税金資産	1,198	1,983
その他	5,404	4,642
貸倒引当金	△19	△22
流動資産合計	90,717	73,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,345	44,715
減価償却累計額	△27,330	△26,635
建物及び構築物(純額)	17,015	18,080
機械装置及び運搬具	117,100	118,469
減価償却累計額	△92,681	△90,296
機械装置及び運搬具(純額)	24,419	28,173
土地	21,409	21,498
建設仮勘定	3,176	4,478
その他	18,859	18,509
減価償却累計額	△17,562	△17,133
その他(純額)	1,296	1,376
有形固定資産合計	67,315	73,605
無形固定資産		
のれん	56	205
その他	1,092	1,110
無形固定資産合計	1,148	1,315
投資その他の資産		
投資有価証券	11,622	9,199
繰延税金資産	4,996	6,150
その他	684	804
貸倒引当金	△90	△98
投資その他の資産合計	17,212	16,055
固定資産合計	85,675	90,976
資産合計	176,392	164,120

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,110	16,553
短期借入金	7,951	6,742
1年内償還予定の社債	—	100
1年内返済予定の長期借入金	8,469	4,568
未払法人税等	875	560
賞与引当金	628	1,877
事業構造改善引当金	—	410
設備関係支払手形	265	233
その他	7,250	7,270
流動負債合計	53,549	38,313
固定負債		
長期借入金	51,838	55,610
退職給付引当金	4,360	5,908
役員退職慰労引当金	30	165
繰延税金負債	1,470	909
再評価に係る繰延税金負債	4,268	4,268
在外子会社の事業譲受に係る特定勘定	3,705	7,615
その他	1,422	2,246
固定負債合計	67,094	76,721
負債合計	120,643	115,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	14,244	14,248
利益剰余金	13,271	8,661
自己株式	△2,347	△2,404
株主資本合計	45,107	40,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,809	771
土地再評価差額金	5,882	5,882
為替換算調整勘定	△4,347	△3,303
評価・換算差額等合計	3,344	3,349
新株予約権	283	234
少数株主持分	7,015	5,058
純資産合計	55,749	49,086
負債純資産合計	176,392	164,120

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	93,692	172,056
売上原価	79,898	147,311
売上総利益	13,795	24,745
販売費及び一般管理費	11,147	13,966
営業利益	2,647	10,779
営業外収益		
受取利息	82	69
受取配当金	74	111
持分法による投資利益	0	—
その他	297	160
営業外収益合計	454	340
営業外費用		
支払利息	1,066	907
持分法による投資損失	—	6
その他	808	843
営業外費用合計	1,874	1,755
経常利益	1,227	9,364
特別利益		
固定資産売却益	5	6
持分変動利益	—	336
補助金収入	60	50
事業構造改善引当金戻入額	—	40
子会社適格退職年金制度終了益	73	—
特別利益合計	138	433
特別損失		
固定資産除売却損	35	117
減損損失	—	44
投資有価証券評価損	4	—
子会社厚生年金基金脱退拠出金	62	—
特別損失合計	101	161
税金等調整前四半期純利益	1,264	9,636
法人税、住民税及び事業税	52	560
法人税等調整額	△276	1,902
法人税等合計	△223	2,462
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,174
少数株主利益	240	1,240
四半期純利益	1,247	5,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,264	9,636
減価償却費	7,275	7,461
減損損失	—	44
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,042	△2,253
受取利息及び受取配当金	△156	△180
支払利息	1,066	907
持分法による投資損益(△は益)	△0	6
固定資産除売却損益(△は益)	30	111
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	△8,952	△14,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	681	△754
仕入債務の増減額(△は減少)	1,890	12,628
その他	△1,272	△5,084
小計	△226	7,788
利息及び配当金の受取額	156	180
利息の支払額	△973	△817
法人税等の支払額	△234	△635
法人税等の還付額	1,101	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△176	6,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△7,000	△4,000
有価証券の償還による収入	—	4,200
定期預金の預入による支出	△11,296	△9,004
定期預金の払戻による収入	1,995	7,006
有形固定資産の取得による支出	△3,665	△3,333
有形固定資産の売却による収入	41	266
投資有価証券の取得による支出	△11	△700
事業譲受による支出	—	△405
その他	△54	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,989	△6,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,943	1,751
短期社債の純増減額(△は減少)	△4,985	—
長期借入れによる収入	12,349	4,191
長期借入金の返済による支出	△2,886	△3,189
社債の償還による支出	△100	△100
株式の発行による収入	12,656	—
配当金の支払額	△3	△1,323
少数株主への配当金の支払額	△34	△217
少数株主からの払込みによる収入	—	1,295
自己株式の純増減額(△は増加)	9	△1
その他	△107	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,957	2,393

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	△170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,138	2,628
現金及び現金同等物の期首残高	31,625	21,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,487	24,180

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は、ブレーキ製品関連事業のみの単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	56,117	24,675	2,114	10,786	93,692	—	93,692
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,577	269	969	181	5,997	(5,997)	—
計	60,694	24,944	3,083	10,967	99,689	(5,997)	93,692
営業利益又は営業損失(△)	1,991	△909	4	1,408	2,493	154	2,647

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国

北米…米国 欧州…仏国・英国 アジア…中国・インドネシア・タイ

3 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、セグメント間取引の消去であり配賦不能営業費用はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高(百万円)	23,691	2,200	12,095	430	38,416
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	93,692
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.3	2.3	12.9	0.5	41.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米…米国、カナダ

(2) 欧州…ドイツ、仏国

(3) アジア…インドネシア、台湾、中国、タイ

(4) その他の地域…南米

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(海外売上高区分の方法の変更)

海外売上高区分の方法について、従来、「北米」、「欧州」及び「その他の地域」の3区分としておりましたが、アジア地域での今後の事業展開の重要性に鑑み、海外売上高区分を「北米」、「欧州」及び「その他の地域」と新たに「アジア」を加えた4区分とすることに致しました。

なお、前第3四半期連結累計期間の海外売上高を当第3四半期連結累計期間において用いた海外売上高区分の方法によると次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高(百万円)	40,743	2,491	14,009	1,290	58,534
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	131,064
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	31.1	1.9	10.7	1.0	44.7

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、主にブレーキ製品を生産・販売しており、各地域の現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「タイ」、「インドネシア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への売上高	66,641	87,131	2,325	3,768	2,377	9,814	172,056	—	172,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,748	201	752	7	104	902	7,714	△7,714	—
計	72,389	87,332	3,078	3,775	2,481	10,716	179,771	△7,714	172,056
セグメント利益又は 損失(△)	7,000	943	△90	631	327	1,839	10,649	130	10,779

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成23年3月期第3四半期連結累計期間 決算概要〔連結〕

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (H21.4~H21.12)		当第3四半期連結累計期間 (H22.4~H22.12)		増減	増減率
売上高	(100)	93,692	(100)	172,056	78,364	83.6%
営業利益	(2.8)	2,647	(6.3)	10,779	8,132	307.2%
営業外損益		△1,420		△1,416	4	-
経常利益	(1.3)	1,227	(5.4)	9,364	8,136	662.8%
特別損益		37		272	235	644.1%
税引前四半期純利益	(1.3)	1,264	(5.6)	9,636	8,372	662.3%
法人税等・調整額		△223		2,462	2,685	-
少数株主利益		240		1,240	1,000	416.6%
四半期純利益	(1.3)	1,247	(3.4)	5,934	4,687	375.8%
総資産	(前期末)	164,120	(当期末)	176,392	12,272	7.5%
純資産	(前期末)	49,086	(当期末)	55,749	6,664	13.6%
自己資本	(前期末)	43,794	(当期末)	48,452	4,657	-
自己資本比率	(前期末)	26.7%	(当期末)	27.5%	0.8%	-
営業CF		△176		6,516	6,692	-
投資CF		△19,989		△6,111	13,879	-
(内数：有価証券&定期預金)		(△16,301)		(△1,798)	(14,503)	-
フリーCF		△20,165		406	20,571	-
設備投資		△3,811		△3,573	238	-
減価償却費		7,275		7,461	186	-
有利子負債	(前期末)	67,084	(当期末)	68,307	1,224	-
連結子会社数	(前期末)	33社	(当期末)	31社	△2社	-
持分法適用会社数	(前期末)	1社	(当期末)	1社	-	-
期中平均レート						
	USD	95.0円		89.0円	△6.0円	-
	EUR	133.0円		112.2円	△20.8円	-
	THB	2.7円		2.8円	0.1円	-
	CNY	13.9円		13.1円	△0.8円	-
	IDR	0.009円		0.010円	0.001円	-

(前期末) = 平成22年3月期

2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (H21.4~H21.12)		当第3四半期連結累計期間 (H22.4~H22.12)		増減	増減率
売上高	日本	60,694	72,389	11,695	19.3%		
	北米	24,944	87,332	62,387	250.1%		
	欧州	3,083	3,078	△6	△0.2%		
	タイ	1,674	2,481	807	48.2%		
	中国	2,334	3,775	1,441	61.7%		
	インドネシア	7,486	10,716	3,230	43.1%		
	アジア消去	△526	△858	△332	-		
	アジア	10,967	16,114	5,147	46.9%		
	連結消去	△5,997	△6,856	△860	-		
	連結	93,692	172,056	78,364	83.6%		
営業利益	日本	3.3%	1,991	9.7%	7,000	5,009	251.7%
	北米	-	△909	1.1%	943	1,852	-
	欧州	0.1%	4	-	△90	△93	-
	タイ	1.3%	21	13.2%	327	305	1,438.5%
	中国	14.4%	337	16.7%	631	294	87.3%
	インドネシア	14.2%	1,061	17.2%	1,839	777	73.2%
	アジア消去	-	△12	-	△5	6	-
	アジア	12.8%	1,408	17.3%	2,791	1,383	98.2%
	連結消去	-	154	-	135	△19	△12.3%
	連結	2.8%	2,647	6.3%	10,779	8,132	307.2%

3. 通期連結予想数値…平成22年11月2日公表の予想数値と平成23年2月7日公表の予想数値との差額

(単位：百万円)

		11/2 公表の通期予想数値 (H22.4~H23.3)		2/7 公表の通期予想数値 (H22.4~H23.3)		増減	増減率
売上高	日本	94,000	94,000	0	0.0%		
	北米	110,600	110,600	0	0.0%		
	欧州	4,000	4,000	0	0.0%		
	タイ	3,100	3,100	0	0.0%		
	中国	4,900	4,900	0	0.0%		
	インドネシア	14,000	14,000	0	0.0%		
	アジア消去	△1,100	△1,100	0	-		
	アジア	20,900	20,900	0	0.0%		
	連結消去	△9,500	△9,500	0	-		
	連結	220,000	220,000	0	0.0%		
営業利益	日本	8.0%	7,500	8.6%	8,100	600	8.0%
	北米	1.3%	1,400	0.5%	600	△800	△57.1%
	欧州	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%
	タイ	12.9%	400	12.9%	400	0	0.0%
	中国	14.3%	700	16.3%	800	100	14.3%
	インドネシア	17.1%	2,400	17.1%	2,400	0	0.0%
	アジア消去	-	0	-	0	0	-
	アジア	16.7%	3,500	17.2%	3,600	100	2.9%
	連結消去	-	100	-	200	100	100.0%
	連結	5.7%	12,500	5.7%	12,500	0	0.0%